

# WLB ワーク・ライフ・バランスに 取り組む企業

今回は、喜多方市に本社がある荒川産業株式会社社長の荒川健吉さん、経営企画室の星幸恵さん、二瓶由美子さんにお話を伺いました。

## WLBに関する具体的な取組

有給休暇の他に育児介護休業及び看護休暇を設け、休暇の取得促進に取り組んでいます。男女共に育児休業の取得は就業規則に明記していますが、まだ男性が育児休業を取得した実績はありません。ですが、就業規則に明記する前の平成20年に、男性社員が育児のために有給休暇を利用して1ヵ月間休業しました。社会的に男性の育児休業取得に取り組み始めた時期でしたし、本人の希望に添えるようにしました。

看護休暇は男女共によく利用されています。共働きが増え、核家族化が進んだことで子どもに何かあったらどちらかが仕事を休まなくてはいけない家庭が増えたからだと思います。時代の変化に合わせた仕組みと運用が必要だと考えています。

その他、セクハラ・パワハラに関する相談窓口を設置しており、設置当初は当社の女性執行役員が対応していました。女性管理職のロールモデルとしても当社に欠かせない存在です。

昨年個人成長を促す「成長確認シート」を使用し、全社員がキャリアプランを作成しています。将来から逆算して1年ごとに目標を設定して取り組んでいます。「成長確認シート」をもとに上司と評価面談を行っています。この評価制度は、会社の考えを示すことができる一つのものさしだと考えています。



お話を伺った荒川健吉さん

## WLBに関する取組の成果・効果に対する期待

多様な人材が働ける会社になることを期待しています。当社では5年前にNPOを立ち上げ、障がい者の就労継続支援のため事業の一部を担っていただいています。障がい者も高齢者も男性も女性もやりがいと満足度を持って働ける職場になるようにしていきたいと思っています。仕事のために家庭を犠牲にするのではなく、仕事もよくなるから家庭もよくなるという相乗効果が生まれればうれしいです。また、人生の中でも様々なライフイベントがあり、働くことに制限が出てしまう時期もあるかもしれません。そんな時は社員同士支え合えるような、恩送りができる職場にしていきたいです。

今後、働きたいと希望する人を受け入れるためには、家庭の事情が多様化する時代の変化に合わせた柔軟な制度の運用が求められていると感じています。社員のニーズに耳を傾け、一緒に解決策を探していきたいと思っています。

### 経営企画室 室長 星 幸恵さん

「当社は昔から性別に関係なくチャレンジする機会があり、昇進に関しても同じです。毎月の面談や改善提案制度等、日頃、考えていることを話しやすい制度だと思います。多様な人材が働ける働きやすい職場をみんなで作っていきましょう。」

### 経営企画室 二瓶 由美子さん

「『成長確認シート』が導入され、仕事のことだけでなく、スキルアップについても明確になりました。また、評価面談では自分の仕事がきちんと評価されていると感じ、次も頑張ろうと思います。その他、月1回の上司との面談では相談もでき、アドバイスをいただくことで、新たな気づきもあります。」

## 荒川産業株式会社

住 所：喜多方市宇屋敷免 3960 番地（本社） 業 種：鉄・非鉄スクラップ各種、古紙等リサイクル業  
従業員数：社員 103 名（うち女性 23 名） ※平成 29 年現在



※当センターに対する御意見・御質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

(公財) 福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター(女と男の未来館)  
〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目 196-1  
TEL (0243)23-8301 (代) FAX (0243)23-8314  
ホームページアドレス：<http://www.f-miraikan.or.jp>  
メールアドレス：[mirai@f-miraikan.or.jp](mailto:mirai@f-miraikan.or.jp)

女と男の未来館



表紙のコンセプト\*第66号「みんな」：男・女である以前に皆それぞれひとりの人であるということ表現するため、様々な形の顔をしています。描かれているたくさんの人は、皆誰かのきょうだいであり、友達であり、恋人です。円形に配置することで、視線がバラバラでもそれぞれにそれぞれを思い合っているということを表しています。